

銀座街づくり会議

〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目6-1 銀座三和ビル3F

PHONE: 03-3567-1535 ● FAX: 03-3563-0236 ● <http://www.ginza-machidukuri.jp>

● このNEWS LETTERは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています
● 本誌の内容を、許可なく無断で複写・複製および転用・転載することを禁じます

6月11日、紙パルプ会館フェニックスプラザにて、2011年度・銀座街づくり会議の活動報告会を開催しました。主な内容は、1) 銀座街づくり会議・この1年間の活動報告、2) 銀座デザイン協議会・デザインレビュー、3) 銀座街づくり会議の課題一次のステップ

プに向けて、の3つです。小坂俊幸評議会議長の挨拶に始まり、小林博人さん（慶應義塾大学教授）、中島直人さん（慶應義塾大学専任講師）にデザインルール第二版の出版のご報告をいただいたほか、蓼原敬さん（都市プランナー）には、ご講演をいただきました。

「銀座街づくり会議」:: 報告会



銀座街づくり会議の課題一次のステップに向けて + デザインレビュー 2012



銀座街づくり会議活動報告と、 デザインレビュー

この1年間の銀座街づくり会議の活動報告としては、ニュースレターを4回発行、シンポジウムを2回開催、評議会を3回行いました。

また、各通り会の街づくり活動の支援として、昨秋には西並木通り街づくり懇話会にご協力させていただきました。中央区や近隣地区とも定期的に情報交換を行い、情報と課題の共有を心掛けています。

銀座デザイン協議会の活動では、「銀座デザインルール第二版」を発行したことが一番大きなことでした。

2011年の対応案件は167件で、袖看板、壁面広告を含む広告デザイン変更の割合が最も多くなっています。大規模開発は現在、松竹歌舞伎座の建て替え、6丁目開発（松坂屋他）、TSビル（旧東芝ビル）、銀座1丁目A街区新築工事の4件の計画が進行中です。

銀座街づくり会議の課題

一次のステップに向けて

約700件のデザイン申請に対応し、「銀座デザインルール」第二版を編集する過程で明らかになってきた、銀座の新たな課題について、銀座街づくり会議アドバイザーの蓼原敬さんと、銀座街づくり会議の竹沢えり子が銀座の課題について話しました。

まず、蓼原さんが日本の都市計画の歩みを欧米諸都市と比較しながら大きな流れを説明し、竹沢がその中で銀座は、震災、戦災といった激変を体験しながら、90年代後半から銀座都市デザインの考え方を言語化・ルール化してゆき、銀座デザイン協議会の設立に至った過程を説明しました。それらを総括すると、銀座がどのような

都市のあり方を選択してきたかが明らかになってきます。具体的には、街全体の都市デザインを大事にし、敷地単位での利益や街並にそぐわないデザインを優先しない、大規模開発によるスーパーブロック化を避け歩きやすい街区スケールの維持、敷地ごとの主体的な開発は維持しつつ地区や通りごとの特徴・調和を考える、路地空間などの記憶の継承に配慮、銀座の意思をまとめる組織がある、中央区を初めとする公共機関が銀座を支えていること等があげられます。

それらをふまえて、銀座はどのように次の段階に進めばよいでしょうか。地区・通りごとのガイドラインや協議を充実させていくことが重要です。しかし道路空間や公共空間の整備など、地元の力だけではどうにもならないことがあります。地元が全体的な考え方を整理し、縦割りになりがちな行政がそれに協力する形が、銀座なら可能かもしれません。また商業床誘致に特化した地区計画の再検討も必要です。

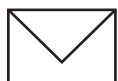
さらに日本が世界的に遅れをとっているのは、文化活動活性化による観光客誘致です。歌舞伎をはじめ、画廊の集積等、銀座特有の文化活動をいかに戦略的に街の活性化に結びつけていくかが今後の大きな課題です。

銀座街づくり会議では、これらの課題を継続的に議論し、区・都・国に提案していきたいと考えています。

- ・当日配布資料 内容をまとめた資料がごさいます。
- ・DVD 貸出ししております。
- ・議事録 ただいま作成中です。少々お待ち下さい。

【問合せ先】銀座街づくり会議(担当:黒田)

電話: 03-3567-1535 メール: info@ginza-machidukuri.jp



このNEWS LETTERは、メール配信もしております。メール配信をご希望の方は、下記までお知らせください。
» info@ginza-machidukuri.jp